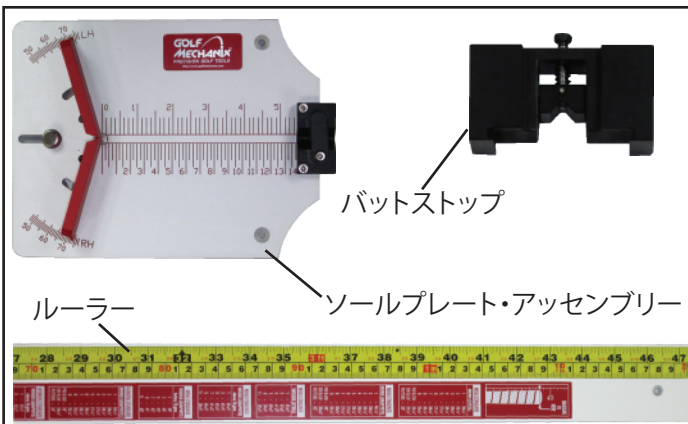


概要

標準的なクラブレングスの計測法とR&A/USGAの60度法の双方に対応した、ベンチマウント＝作業台上に設置して使用するルーラーです。

ヘッドのソールに任意のライ角度で当てるソールプレートを基点に、シャフト軸にそって配置された48インチルーラーにより、容易にクラブレングスを測定でき、クラブ組立時のシャフトカットのレングス確認にも最適です。

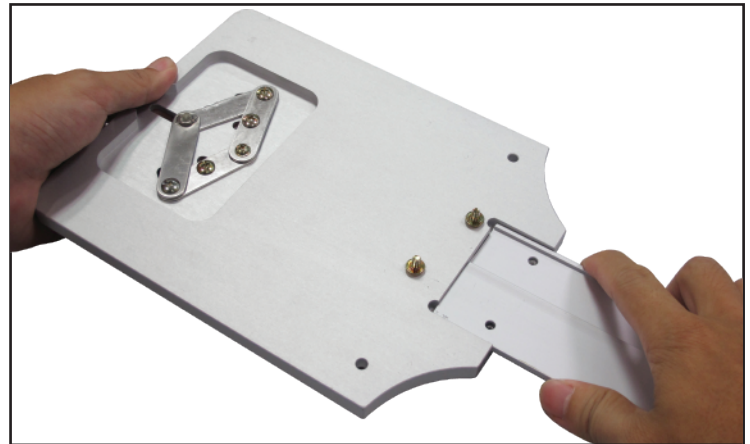
セットアップ



商品を受領後、上記のパーツが全てそろっているか、ご確認をお願い致します。

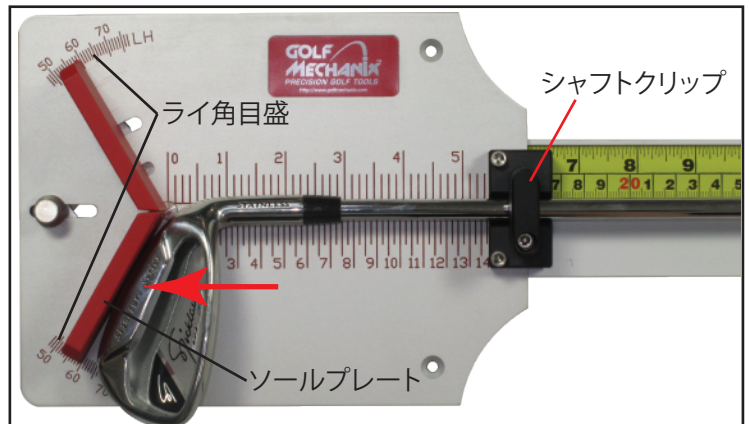


ドライバー等を用いて、ソールプレート・アッセンブリー背面のネジを一旦、取り外します。



ルーラーを上図のように取り付け、取り外したネジ2本で固定します。

計測方法



シャフトクリップを使用して、シャフトを固定し、ヘッドがソールプレートに当たる位置までずらし、ソールプレートの角度を合わせます。ヘッドのライ角度がわかっている場合は、その角度に、60度法で計測する場合は、60度に合わせます。ヒールエンド法を採用する場合は、ヒールエンドをルーラーの0基点に合わせた時に、ヘッドに干渉しない角度に合わせて下さい。



バットストップをルーラーにのせ、グリップエンドに当てて計測します。上図は、エンドキャップ端部に赤い線を合わせて計測する際の読取位置です。60度法等、エンドキャップの膨らみを含める場合は、バットストップを180度回転させ、平面をグリップエンドに当てて下さい。